

<プレスリリース>

2015年2月19日

プリンセス・クルーズ、新プログラム 「ノース・トゥ・アラスカ！」を発表 本場の味と文化を船上で「ライク・ア・ローカル（地元の人のような）」体験



長年にわたって定評のあるアラスカ・クルーズを提供しているプリンセス・クルーズは、船上でアラスカ体験を堪能できる新プログラム「ノース・トゥ・アラスカ！」を発表しました。

2015年5月より新登場する「ノース・トゥ・アラスカ！」は、地元のエキスパートと提携し、本場の料理や講座、エンターテイメントなどの多彩な体験を通じてアラスカをより深く探求できるプログラムです。地元のシェフやレストランが厳選するアラスカ産のシーフードを使った特別料理や、地元の人々とのユニークな交流イベントや船上でのイベントなどが多数用意され、アラスカのさまざまな魅力を楽しむことができます。

プリンセス・クルーズ社長のジャン・スワーツは、「世界的に有名なアラスカのシーフード料理をはじめ、木こりの生活を学ぶイベントや船上パーティー『ミッドナイト・サン』など、アラスカでの最高のバケーションをご満喫いただくため、船上でさまざまなプログラムをご用意しています。プリンセス・クルーズでは、クルーズでのバケーションの満足感をさらに高め、船旅が一生涯忘れられないような素晴らしい時間となるよう、新しい試みを行っています。この新しいプログラムでは、おもてなしのプログラムを通じて、このような私たちの取り組みを感じていただけたらと思います」と語っています。

「ノース・トゥ・アラスカ！」の詳細

■「イート・ライク・ア・ローカル」(地元の人気メニューを)

現地の料理を存分に味わっていただけるよう、「アラスカシーフードマーケティング協会」※<http://japanese.alaskaseafood.org/>と提携し、特にキングクラブやキングサーモン、新鮮なオヒョウを使ったさまざまなアラスカ料理を毎晩提供します。現地の味を忠実に再現するため、地元のシェフから特別に指導を受けたプリンセス・クルーズのシェフが調理を担当します。また、スペシャリティ・レストランでも特定の日の夜にアラスカの郷土料理を提供します。

さらにプリンセス・クルーズは、アラスカの一流レストランとも提携し、地元の人気メニューや名物料理を船内で提供します。メニューの一例として、ジュノーにある「トレイシーズ・キングクラブ・シャック」のクラブケーキ、ケチカンにある「アラスカ・フィッシュ・ハウス」のフィッシュタコス、スキヤグウェイにある

「スキヤグウェイ・フィッシュ・カンパニー」のマーメイド・バーガーなどがあります。またメインダイニングでは、地元「サウスサイド・ビストロ」のシェフ、トラビス・ホーゲン氏がプロデュースし、2014年の「グレート・アラスカ・シーフード・クックオフ」で優勝した創作料理「アラスカサーモンのパンシアード〜根菜のハッシュと紅茶キノコ添え〜」が楽しめます。

■「ラン・フロム・ザ・ローカルズ」(地元の人から学ぶ)

アラスカ・クルーズには、様々な発見と探求があります。お客様に多様なアラスカ文化に触れていただけるよう、アラスカの暮らしに関するトークイベントや記憶に残る体験型のインタラクティブ・アクティビティーをご用意します。

- ディスカバリー・チャンネルの人気番組『ベーリング海の一攫千金』に出演したデビッド・レシン船長とアリューション・バラード号のクルーが、ベーリング海で体験した命がけのカニ漁について語ります。
- 地元の木こりが木材伐採の歴史について語ります。お客様は斧投げコンテストに参加して「木こりの棟梁」の暮らしを体験できます。
- ニューヨーク・タイムズ紙のベストセラー作家で有名な語り手のニック・ヤンス氏が、著書『A Wolf Called Romeo』に登場するロミオという狼の感動的な物語とロミオがジュノーの人々に与えた影響について語ります。
- お子様は、ジュニア・レンジャー・プログラム、砂金探し、『ベーリング海の一攫千金』のカニの仕分けゲーム、対話型のグリーン・スクリーン・ゲームなどを通じてさまざまな冒険を体験できます。

■「セレブレート・ライク・ア・ローカル」(ゴールドラッシュ体験)

ゴールドラッシュに沸いたクロンダイクの全盛期に思いを馳せ、当時の興奮をご体験いただけます。船上で開催される「クロンダイク・フェスティバル」では、ソリレースに関するプレゼンテーション、ペニー・ホイッスル(ブリキ製の縦笛)講座、伝統舞踊のパフォーマンスのほか、美術工芸品の展示会など多数のアクティビティーがあり、家族全員で楽しめます。フェスティバルは、各種エンターテインメントやゲーム、スペシャリティ・ドリンクが用意された船上パーティー「ミッドナイト・サン」で白夜を祝い、幕を閉じます。

2015年5月から9月までの夏季には、サンフランシスコ、シアトル、バンクーバー、ウィットティア(アンカレッジ)の港から合わせて7隻のプリンセス・クルーズの客船が、120本以上のアラスカ・クルーズに出発します。

プリンセス・クルーズでは、アラスカでより多くの体験をしたいお客様のために、10泊から15泊でアラスカの大地を陸と海から満喫できるバラエティ豊かな旅行プラン「アラスカ・ツアーズ」もご用意しています。すべてのクルーズツアーには、グレイシャーベイ国立公園の訪問を含む8日間のクルーズ「グレイシャー・ハイライト」と、デナリ国立公園エリアにある「プリンセス・ウィルダネス・ロッジ」での最大4泊の滞在が含まれます。

アラスカ・クルーズの全オプションおよび「ノース・トゥ・アラスカ！」の詳細は、princess.com/NorthToAlaska (英文)をご参照ください。

2015年で創立50周年を迎えたプリンセス・クルーズは、年間を通じて、船上での新たなメニューやエンターテインメント、ショッピングを導入する予定です。プリンセス・クルーズは、1965年に1隻の客船でメキシコ・クルーズを開始。現在では、世界で3番目の規模を誇るクルーズ会社となり、ゲストを世界中の魅力的な寄港地に案内しています。



プリンセス・クルーズの詳細については、日本語ページ(<http://www.princesscruises.jp>)をご覧ください。
るか、各旅行会社までお問い合わせください。

プリンセス・クルーズについて

クルーズ業界で最もよく知られる名前の一つであるプリンセス・クルーズは、現在 18 隻の近代的な客船を運航する、世界的なクルーズ会社。革新的なデザインの客船で、食事やエンターテイメント、アメニティーの豊富な選択肢を、上質のサービスとともに提供しています。世界的なクルーズ会社のリーダーとして、年間170 万人のゲストを世界中の目的地に向けて、4 泊から 111 泊のクルーズを運航しています。プリンセス・クルーズは、カーニバル・コーポレーション & plc (NYSE/LSE:CCL; NYSE:CUK)傘下の会社です。

プリンセス・クルーズの主な受賞歴

- 日本外航客船協会主催「クルーズ・オブ・ザ・イヤー2014」において、日本発着クルーズが「グランプリ」受賞
- 日本の歴史あるクルーズ誌「クルーズ」の読者投票「クルーズシップ・オブ・ザ・イヤー2014」において、プリンセス・クルーズが「外国船社部門第 1 位」、客船『ダイヤモンド・プリンセス』が「外国船部門第 1 位」に選出
- 一般社団法人日本旅行業協会主催「JATA ツーリズム大賞 2013」において、「運輸部門優秀賞」受賞
- 米国トラベル誌最大手「トラベル・ウィークリー」主催「トラベル・ウィークリー・マゼラン・アワード 2013」において、客船『ロイヤル・プリンセス』(新造船『リーガル・プリンセス』の同型姉妹船)が「ベスト・ラージ・クルーズ・シップ金賞」受賞
- 米国トラベル誌大手「コンデナスト・トラベラー」主催「コンデナスト・トラベラー読者投票 2013」において、日本発着クルーズに就航している『ダイヤモンド・プリンセス』を含む客船 6 隻が「ベスト・クルーズ・シップ・イン・ザ・ワールド Top 20 ラージ・シップ」に選出
- 英国クルーズ誌最大手「クルーズ・インターナショナル」主催「クルーズ・インターナショナル・アワード 2014」において、「ベスト・クルーズ・ライン賞」受賞

お問い合わせ先:

株式会社 カーニバル・ジャパン (プリンセス・クルーズ ジャパンオフィス)

<http://www.princesscruises.jp/>

TEL: 03-3573-3610